

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公開番号】特開2013-158912(P2013-158912A)

【公開日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-044

【出願番号】特願2012-19601(P2012-19601)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 11/42 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 11/42 K

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月5日(2015.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シート状物をロールとして保持し、前記ロールから前記シート状物を送り出す駆動ローラーと、

前記駆動ローラーと前記シート状物を挟んで対向する位置に配置される従動ローラーと、

前記従動ローラーの回転数を検知する回転検出器と、

前記ロールを回転させて前記送り出したシート状物を巻き戻すロール回転部と、

前記駆動ローラー及び前記ロール回転部の駆動を制御する制御部と、を有し、

前記制御部は、前記シート状物の巻き戻しの指示を受けた際に、前記ロール回転部の回転速度を決定し、当該回転速度に基づいて前記ロール回転部の減速を開始するタイミングを前記シート状物の搬送量として決定し、前記ロール回転部の駆動を開始させ、前記回転検出器の検出値によって把握される前記駆動開始後の前記シート状物の累計搬送量が前記決定した搬送量に達した時点で、前記ロール回転部を減速させる

ことを特徴とする搬送装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記制御部は、前記指示を受けた際の前記ロールの径の情報から、前記ロール回転部が減速を開始後停止するまでの前記シート状物の搬送量を予想し、前記指示による目標搬送量から当該予想した搬送量を差し引いた搬送量の値を、前記減速を開始するタイミングとする

ことを特徴とする搬送装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の搬送装置を備え、前記送り出された前記シート状物に印刷を実行する印刷装置。

【請求項 4】

シート状物をロールとして保持し、前記ロールからシート状物を送り出す駆動ローラーと、前記駆動ローラーと前記シート状物を挟んで対向する位置に配置される従動ローラーと、前記従動ローラーの回転数を検知する回転検出器と、前記ロールを回転させて前記送り出したシート状物を巻き戻すロール回転部と、前記駆動ローラー及び前記ロール回転部

の駆動を制御する制御部と、を有する搬送装置において、

前記シート状物の巻き戻しの指示を受けた際に、前記ロール回転部の回転速度を決定し、当該回転速度に基づいて前記ロール回転部の減速を開始するタイミングを前記シート状物の搬送量として決定し、前記ロール回転部の駆動を開始させ、前記回転検出器の検出値によって把握される前記駆動開始後の前記シート状物の累計搬送量が前記決定した搬送量に達した時点で、前記ロール回転部を減速させる

ことを特徴とする搬送装置の搬送方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記の目的を達成するために、本発明の一つの側面は、シート状物をロールとして保持し、前記ロールから前記シート状物を送り出す駆動ローラーと、前記駆動ローラーと前記シート状物を挟んで対向する位置に配置される従動ローラーと、前記従動ローラーの回転数を検知する回転検出器と、前記ロールを回転させて前記送り出したシート状物を巻き戻すロール回転部と、前記駆動ローラー及び前記ロール回転部の駆動を制御する制御部と、を有し、前記制御部は、前記シート状物の巻き戻しの指示を受けた際に、前記ロール回転部の回転速度を決定し、当該回転速度に基づいて前記ロール回転部の減速を開始するタイミングを前記シート状物の搬送量として決定し、前記ロール回転部の駆動を開始させ、前記回転検出器の検出値によって把握される前記駆動開始後の前記シート状物の累計搬送量が前記決定した搬送量に達した時点で、前記ロール回転部を減速させる、ことである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

更に、上記発明において、好ましい態様は、前記制御部は、前記指示を受けた際の前記ロールの径の情報から、前記ロール回転部が減速を開始後停止するまでの前記シート状物の搬送量を予想し、前記指示による目標搬送量から当該予想した搬送量を差し引いた搬送量の値を、前記減速を開始するタイミングとする、ことを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

上記の目的を達成するために、本発明の更に別の側面は、シート状物をロールとして保持し、前記ロールからシート状物を送り出す駆動ローラーと、前記駆動ローラーと前記シート状物を挟んで対向する位置に配置される従動ローラーと、前記従動ローラーの回転数を検知する回転検出器と、前記ロールを回転させて前記送り出したシート状物を巻き戻すロール回転部と、前記駆動ローラー及び前記ロール回転部の駆動を制御する制御部と、を有する搬送装置の搬送方法において、前記シート状物の巻き戻しの指示を受けた際に、前記ロール回転部の回転速度を決定し、当該回転速度に基づいて前記ロール回転部の減速を開始するタイミングを前記シート状物の搬送量として決定し、前記ロール回転部の駆動を開始させ、前記回転検出器の検出値によって把握される前記駆動開始後の前記シート状物の累計搬送量が前記決定した搬送量に達した時点で、前記ロール回転部を減速させる、ことである。